

民主島根

2017年
4.9
第1285号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

松江・出雲で日本共産党街頭演説 党躍進で「安倍政治ノー」の審判を

吉良よし子 参議院議員、大平喜信 衆議院議員が訴え

松江市で演説する吉良よし子参院議員（イオン前）



出雲市で訴える大平喜信衆議院議員と、
大国陽介県議（塩冶有原町）



松江、出雲両市の政治戦を前にした2日、日本共産党の吉良よし子参院議員が松江、出雲市で、大平喜信衆議院議員が出雲市でそれぞれ日本共産党の躍進を訴えました。

吉良、大平の両氏は、国民の声を無視して暴走する安倍政権の打倒を訴え、「日本共産党を大きく伸ばして、安倍自公政権にノーの声を突きつけよう」と呼びかけました。

吉良氏が森友学園問題などを告発し、「安倍政権はこの国の未来を託すわけにはいかない」と力説すると、何度も「そうだ」の声が上がりました。その上で、政治とカネの問題や、全国で唯一県庁所在地に

立地する島根原発の問題を一貫して追及してきたのが共産党だと紹介し、「原発は廃炉に、島根原発再稼働反対の願いを共産党に」と呼びかけました。

岩田たけし衆院島根1区予定候補も訴えました。

出雲市で訴えた大平氏は

は、年金カット、医療・介護改悪など社会保障予算は削減する一方で、防衛予算は5年連続増大させている安倍政権を厳しく批判し、「くらし守れ、平和・福祉を守れの願いは共産党に託してください」と呼びかけました。

は、年金カット、医療・介護改悪など社会保障予算は削減する一方で、防衛予算は5年連続増大させている安倍政権を厳しく批判し、「くらし守れ、平和・福祉を守れの願いは共産党に託してください」と呼びかけました。

迫る！ 隠岐の島町、奥出雲町議選

隠岐の島町議選（定数16）が11日告示・16日投票で行われ、日本共産党の村上三三郎町議が8年間空白だった党議席の回復に挑みます。1名オーパーの少数激戦となる見込みです。村上氏は「一人ひとりが大切にされるま

ち」を掲げ、
▽国保税の1世帯1万円引き下げ
▽介護保険の負担軽減、サービスの充実
▽離島の農林漁業の振興など



奥出雲町議選予定候補 田食道弘氏（新）



奥出雲町議選予定候補 川西明德氏（現）



隠岐の島町議選予定候補 村上三三郎氏（元）

を訴えています。

奥出雲町議選（定数14）は18日告示・23日投票で行われ、日本共産党の現職川西、新田食氏

投票で行われ、日本共産党の川西明德町議（現）と田食道弘氏（新）が2議席獲得をめざします。少数激戦が予想されています。川西、田食の両氏は

は、国の悪政から町民を守るため、▽国保・介護・子育てなどくらし、福祉最優先に▽仁多米の産地・奥出雲の農業振興を―などを訴えています。

鼓動

森友学園疑惑をめぐって、官僚による「寸度（そんなく）」が問題となっている。「他人の心中をおしはかると」とある。露骨な政治的圧力が8億円も値引きとはにわかに信じがたい▼国会で建設談合の政官癒着追及に携わった経験からすると、もし「寸度」でこれほどの不正が起つたとするれば、担当の財務大臣が総理大臣の関与以外考えられない。一国会議員の口利きでは、官僚はここまで動かない、いや動けないものなのだ。ましてや、財務省だけでなく国交省や大阪府まで動かしている▼案の定、総理大臣夫人の異常な動きが「つぎつぎと明らかになっている。そして、府の私学審議会が委員から様々な疑問が出されてきたにもかかわらず、小学校の設置認可をした当の松井府知事は、「安倍総理は、寸度はあつたとはつきり認めべき」と発言。総理夫人の関与を示唆した▼ただし「今回は悪い寸度ではない」とも。これは、森友学園の問題が噴出しているのに、こんな強弁は通用しない。そのことを最も知っている安倍総理は「寸度はない」の一点張りだ。そして嵐が過ぎるのを待って、幕引きをはかるうと躍起になっている▼この問題の本質は、国民が高い税金や公課公租に苦しんでいる中で、安倍総理夫人と親しい人物に国有財産が安く払い下げられたことである。寸度した官僚や政治家の責任を徹底的に追及するとともに、政治的権威に名を借りて行政手続きがねじ曲げられるという、わが国の政治的民主主義が鋭く問われている。（吉）



新入生らにお祝いを述べ、「民青新聞」号外と新歓企画のビラを配り、シールアンケートへの協力を呼びかけました。

シールアンケートに応じた学生は「海外のように授業料や奨学金の返済を免除してほしい」などと語りました。（写真）

3月15日に開会した2月県議会では、尾村利成、大国陽介の両県議は森山健一県議の政務活動費の不適切使用が疑われる事案や2017年度予算について県民の立場で質疑・討論に立ちました。

尾村県議は、地方創生・行財政改革特別委員会の委員長報告に立った森山県議に対し、速やかに会見を開き、説明責任を果たすよう要求。「政治に信頼を取り戻すためには、議員が疑念を持たれた際、政治的・道義

「政治とカネ」、くらし・福祉予算の充実を 尾村・大国県議が質疑、討論に

2月県議会の論戦から

的責任を果たし、説明責任を果たさなければならぬ」と強調した上で住民合意のない松江北道路建設の中止、県民サービスの低下につながる職員削減の中止を主張しました。

大国県議は予算の討論で、安倍政権の社会保障削減で格差と貧困が拡大し、生活が壊されていると指摘。「県民のくらしが困難に直面している時、県政がくらしを守る防波堤の役割を果たす時だ」と主張し、反対しました。